



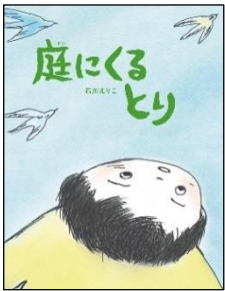
ほんのひろば



としよしつ おすすめのほん



これ、よんで！



『庭にくるとり』

石川 えりこ／作 絵 ポプラ社 (E-イシカ)

お母さんといっしょに、おじいちゃんの家^{いえ}にすむことになった男の子^{おとこ}、はじめ。おじいちゃんとさいしょは、ぎこちない感じ^{かん}です。けれど、庭^{にわ}の木にとりのエサ台^{だい}をつけたことをきっかけに、おじいちゃんからたくさんのことを教わりながら、だんだんとなかよくなっていきます。



『けんか餅』

桐生 環／作 野間 与太郎／絵 フレーベル館 (Y913-キリユ)

豆吉^{まめきち}は老舗^{しにせ}の菓子屋^{かしや}で奉公人^{ほうこうにん}として働^{はたら}いていましたが、けんかばかりする若旦那^{わかだんな}が店^{みせ}を追い出^おされたせいで、一緒^{いっしょ}についていくことになります。ふたりは小さな菓子屋^{かしや}を始めますが、開店^{かいてん}した日^ひにお客^{きやく}にきた大工^{だいく}の辰五郎^{たつごろう}とさっそくけんかになり、豆吉^{まめきち}はハラハラします。江戸^{えど}の豆知識^{まめちしき}つき「お江戸豆吉^{えどまめきち}」シリーズ第1巻^{だい かん}。



『なりたい！が見つかるお仕事図鑑』

朝日新聞出版／編著 朝日新聞出版 (B36-ナリタ)

職業・職種^{しよくぎょう しよくしゆ}が450種以上^{しゆいじょう}とたくさん紹介^{しょうかい}されています。仕事^{しごと}の内容^{ないよう}やなり方はもちろん、自分^{じぶん}にはどんな仕事^{しごと}がむいているのかわかるお仕事診断^{しごとしんだん}チャートも活用^{かつよう}して、興味^{きょうみ}のあるお仕事^{しごと}を見つけてみませんか？



<p>「キーウの月」 ジャンニ ロダーリ／作 バアトリーチェ アレマーニヤ／絵 内田 洋子／訳 講談社 (E-アレマ)</p>	<p>「はりねずみのノート屋さん」 ななもり さちこ／作 たかお ゆうこ／絵 福音館書店 (Y913-ナナモ)</p>
<p>「うみべのおはなし3 にんぐみ」 ジェイムズ マーシャル／さく 小宮 由／やく 大日本図書 (Y93-マシヤ)</p>	<p>「こどもが探せる身近な場所のきれいな石材図鑑」 柴山 元彦・井上 ミノル／著 創元社 (B56-シバヤ)</p>



いいざかゑたんけん

まつおぼしろう
～松尾芭蕉～



まつおぼしろう えどじだい おく ほそみち ほん か はいじん はいく つく ひと
松尾芭蕉は江戸時代に『奥の細道』という本を書いた俳人(俳句を作る人)です。

おく ほそみち ねん がつ えど とうきょうと しゅつぱつ とうほく ほくりく たび
『奥の細道』には、1689年3月に江戸(東京都)を出発し、東北・北陸を旅して8
がつ おおがき ぎふけん とうちやく ようす たびさき つく はいく か
月に大垣(岐阜県)に到着するまでの様子と旅先で作った俳句が書かれています。

ふくしま おとず いいざか た よ いいざかおんせんえき まつおぼしろう どうぞう た
福島にも訪れ、飯坂にも立ち寄っています。飯坂温泉駅に松尾芭蕉の銅像が立っ

ているので見たことがある人もいます。今年(ことし)は松尾芭蕉が旅をして333

ねんめ おく ほそみち いま よ えどじだい いいざか まつおぼしろう
年目です。『奥の細道』は今も読むことができます。江戸時代の飯坂と松尾芭蕉の

はいく
俳句にふれてみてはいかがでしょうか？

さんこう ほん
<参考にした本>

- ・『松尾芭蕉;俳人芭蕉・蕪村・一茶を知ろう』高村 忠範/文・絵 汐文社 (Y911-マツオ)
- ・『少年少女古典文学館 26;おくのほそ道ほか』高橋 治/[訳]著 講談社 (Y918-シヨウ)
- ・『まんがとカメラで歩く奥の細道 全3巻』伊東 章夫/まんが 大石 好文/写真 理論社 (K915.5-マツオ)

おはなしかいのおしらせ

えほん たの
絵本のよみきかせ、てあそび・わらべうたなどで楽しくすごそう！

おはなしひろば

たいしやう しょうがくせい
対象:4さいから小学生むけ

まいつきだい どうようび
にちじ:毎月第1土曜日 ごぜん11:00～



おひざにだっこのおはなし会

たいしやう にゅうようじ ほごしゃ
対象:3さいまでの乳幼児と保護者むけ

おも まいつきだい もくようび
にちじ:主に毎月第2木曜日 ごぜん10:30～



おはなしひろば～ふくよみスペシャル～

たいしやう しょうがくせい
対象:4さいから小学生むけ

がつ にち ど
にちじ:12月24日(土) ごぜん 11:00～



まいつき24日は

「ふくしま読書の日」(ふくよみの日)!

ばしょ いいざかがくしゅう わしつ
場所:飯坂学習センター 和室

※ひにちはへんこうや中止になることがあります

ほんのひろば 2022年11月発行(通巻 第36号)

編集・発行:飯坂学習センター図書室

〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 Tel.542-2122

【福島市立図書館ホームページ】

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyokanri/kanko/toshokan/>

